一般質問（要旨）

市民総合交流拠点施設の整備について

自由民主党昭島市議団　木﨑　親一　議員

質問　市民総合交流拠点施設整備の今後の取り組みについて、①工事完了後、市民を含めてオープニングイベントを行うとのことだが、内容は。②ネーミングライツの導入は、今後の施設の維持管理や地域活性化につながる取り組みと考えるが、見解は。

答弁　①市民とともにお祝いすることを基本に、市民との協働によるイベントを企画検討している。②新たな財源の確保や持続可能な施設の管理・運営のため有効な手段と認識している。愛称を生かした形でのネーミングライツ・パートナーを令和7年7月から募集予定である。

質問　少子化の影響で児童・生徒数は減少していくと予想される。将来的に、小中学校の統廃合も視野に入れ、学校施設の維持管理を進めていく必要があるが、見解は。

答弁　学校施設の在り方は、将来を見据え検討すべき重要な課題の一つと捉えている。引き続き財源の確保なども含め、学校施設の更新課題に適切に対応していく。

質問　防災訓練や広報等を通じて地震対策の呼びかけを行っているが、巨大地震に備え、より一層の意識啓発に努めていくことが大切である。考えは。

答弁　引き続き防災意識の向上を図るため、様々な媒体や機会を捉え、防災情報の周知・啓発に努めていく。

質問　五日市線開業100周年を機に、将来を担う子どもたちに鉄道の名残である「五鉄敷」の由来を知ってもらうため、出前授業を行う考えは。

答弁　これまでに収集した五日市鉄道に関する資料や知見を活用する中で、出前授業の実施が可能か検討していく。

物価高騰から市民の命と暮らしを守る施策について問う

日本共産党昭島市議団　奥村　博　議員

質問　在日米軍横田基地問題について、①消火訓練場貯水池のPFAS汚染水処理に関して、雨水排水路と多摩川の調査をすべき。また、残存する泡消火剤について解明すべき。②在日米軍司令部は、作戦指揮権を持つ統合軍司令部へ格上げする動きがある。戦火となれば標的となる不安に置かれている住民への見解は。

答弁　①基地周辺住民の不安解消に資する説明がされるよう、引き続き都と周辺市町連絡協議会との連携を基軸に要請を重ねていく。②米国内における検討の上で段階的にアップグレードが進められており、日本側としても引き続き日米の作業部会を通じて議論していくと聞いている。今後の動向を注視していく。

質問　深刻な物価高騰から市民の命と暮らしを守る施策について、①インボイス制度の導入は、シルバー人材センターの運営に大きな負担となっている。制度の廃止を国に求める考えは。②酷暑対策として、エアコン購入費助成事業を行う考えは。③18歳以下の子どもがいる世帯や住民税非課税世帯、65歳以上の世帯を対象におこめ券を配布しては。

答弁　①制度については社会状況等を鑑み、国で議論されていくものと考えている。市としてその動向を注視し、国の方針を踏まえた適切な対応を取っていく。②③エアコン購入費助成やおこめ券の配布は、市民の暮らしを守る施策の1つと理解している。国による低所得世帯向けの各種給付金や水道料金・下水道使用料減免事業等の対策を講じており、今後も国や都と足並みを揃え、市民生活を下支えする施策に努めていく。

おそとたのしい!
（昭和記念公園）

残堀川調節池運動施設について

自由民主党昭島市議団　小林　こうじ　議員

質問　残堀川調節池運動施設について、平成27年の計画で示されたスケートパークを利用者が絶えない施設とするためには、設計が重要である。知見や経験のある市内団体との協議会を立ち上げる考えは。

答弁　計画の改定にあたり、知見のある専門家へ意見を聞くなど、より多くの方が満足できる施設となるよう、検討していく。

質問　平和教育の一環として、修学旅行で知覧特攻平和会館に訪問しては。

答弁　滞在先は各校において決定しているため、総合的な視点で検討できるよう、情報提供等に努めていく。

質問　学校給食について、①物価高騰に対して、予算内で対応できているのか。②食物アレルギーに対応した給食の提供を行っているが、アレルギーで牛乳が飲めない児童・生徒の必要なカロリーを賄うための考えは。

答弁　①食材料費に多少の影響はあるが、献立の工夫や地場産の食材を取り入れ、おいしい給食の提供に努めている。②給食全体の栄養価を損なうことなく提供できる代替飲料などについて研究していく。

質問　拝島分水について、①令和7年3月に取水口付近の修復工事を実施したが、再び枯渇している。清流の復活に向けた対応は。②水流がないことで異常に繁茂している草への対応を求める声がある。定期的な草刈りを行う考えは。

答弁　①羽村取水堰（せき）の取水量を調整し、玉川上水の流水量を増やすよう、引き続き都へ働きかけていく。②7年度は3回の除草を予定しており、引き続き適正な維持管理に努めていく。

高齢者が安心して暮らせるまちづくりについて

公明党昭島市議団　赤沼　泰雄　議員

質問　単身高齢者世帯の増加に伴う諸課題について、①役所への届け出など、亡くなった後に発生する様々な手続きを依頼できる死後事務委任契約は、弁護士等専門家への依頼費用が課題である。所得制限を設けた上で、助成制度を創設する考えは。②遺産を地元に寄附したいとの声を受け、他自治体では遺贈寄附を受け入れる体制づくりが進んでいるが、所見は。③テレビの横に置くだけでテレビをつけた回数が確認できるなど、離れて暮らす人の様子をスマートフォンで確認できる「寄り添いペンタ」というサービスを導入しては。

答弁　①サービスの信頼性や担保の問題が課題となっており、助成には慎重に対応すべきものと考えている。引き続き必要な支援の在り方を関係機関と連携し、検討していく。②他自治体の効果を検証し、課題等も見極める中、寄附制度の在り方について検討していく。③サービスの効果や導入事例も確認する中、既存事業の見直しも含め財源確保を前提に検討していく。

質問　立川市で発生した部外者による学校への侵入・傷害事件を受けて、①セキュリティ体制の見直しや強化についての今後の考えは。②防犯対策として、学校施設の管理を教職員から切り離し、民間委託にすることなどが有効な方法と考える。所見は。

答弁　①防犯カメラの更新や防犯用品の交換を実施する中、学校からの要望も聞き取り、でき得る限りの防犯対策を講じていく。②現時点では難しいものと考えているが、どのような対応が効果的か、多角的な視点から検討する必要があると受け止めている。

提出案件と結果

○可　決

▽令和7年度昭島市一般会計補正予算（第1号）
▽令和7年度昭島市一般会計補正予算（第2号）
▽令和7年度昭島市水道事業会計補正予算（第1号）
▽行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用並びに特定個人情報の利用及び提供に関する条例の一部を改正する条例
▽昭島市税賦課徴収条例の一部を改正する条例
▽昭島市高齢者福祉センター条例の一部を改正する条例
▽昭島市特定教育・保育施設、特定地域型保育事業等の利用者負担に関する条例の一部を改正する条例
▽昭島市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例
▽都市計画道路3・4・1号かん体築造工事請負契約
▽昭島市民会館・公民館除湿温度保持機能等復旧工事請負契約
▽小中学校事務机等の取得について
▽市民総合交流拠点施設初度備品等（机及び椅子等）の取得について
▽市民総合交流拠点施設建設工事（建築工事）請負変更契約
▽市民総合交流拠点施設建設工事（機械設備工事）請負変更契約
▽市民総合交流拠点施設建設工事（電気設備工事）請負変更契約
▽訴えの提起について
▽昭島市民総合交流拠点施設の指定管理者の指定について
▽市道路線の廃止について（西340号）
▽市道路線の廃止について（東150号）
▽市道路線の認定について（西340号・西741号）
▽市道路線の認定について（東150号・東241号）
▽市道路線の認定について（東242号）
▽（議員提出議案）昭島市議会委員会条例の一部を改正する条例

○承　認

▽専決処分の承認を求めることについて（昭島市税賦課徴収条例の一部を改正する条例）
▽専決処分の承認を求めることについて（令和7年度昭島市下水道事業会計補正予算・第1号）

○同　意

▽昭島市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて

5面下段へ続く